

小麦「ニシノカオリ」の多収追肥法

農業総合研究所

要 旨

小麦「ニシノカオリ」において、2等以上の外観品質を確保しつつ多収を得るためには、2月上旬と3月上旬に施用する追肥窒素量は、10a 当たり2月上旬が2~3kg、3月上旬では3kg が適当である。

成果の概要

- ① 2月上旬追肥、3月上旬追肥ともに、精麦重、外観品質及び蛋白質含量に対して影響が認められる。
- ② 精麦重は、増施により穂数及びm²当たり粒数が多く確保され、増加する。
- ③ 外観品質は、増施により低下する傾向が認められる。これは、増施により粒数が増加し、千粒重が小さくなり整粒歩合が低下することによるもので、品質低下程度は、2月上旬追肥の施肥量が3~4kg で3月上旬追肥を4kg 施用した場合に最も大きくなる。
- ④ 子実蛋白質含量は、増施により高まる傾向を示す。
- ⑤ 2月上旬追肥、3月上旬追肥ともに、増施による稈長への影響は明らかでなく、倒伏への影響も認められない。
- ⑥ 以上の結果、2等以上の品質を確保しつつ多収を得るための追肥窒素量は、2月上旬が2~3kg、3月上旬では3kg が適当である。

(外観品質)	4.3	4.5	4.3	4.0	5.0	5.8	5.3	5.0	6.0
(蛋白質含量:%)	11.4	11.6	11.6	11.3	11.8	12.1	11.9	11.6	12.1

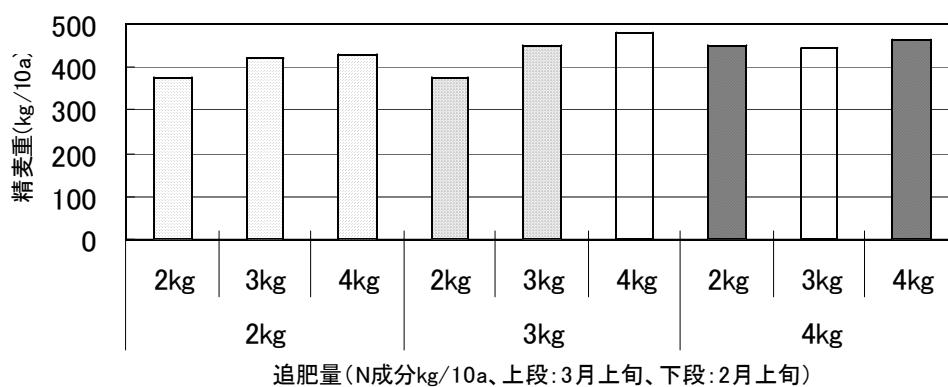


図 施肥法別の収量及び品質

(注) 基肥窒素施用量: 8kg/10a
 外観品質: 1, 2, 3(1等)、4, 5(2等)、6(規格外)